

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第200号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年6月11日 09時30分ごろ	
発生場所	千葉県岩井袋港 勝山浮島灯台から真方位131° 1,500m付近 (概位 北緯35° 06.0′ 東経139° 49.7′)	
事故等調査の経過	平成21年8月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	砂利採取運搬船 第三大 ^{たいほう} 丸、460トン 126001、有限会社大丸海運 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器翼曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、岩井袋港において、土砂約1,000トンを積載し、船首約4.0m、船尾約4.4mの喫水で、離岸作業中、船尾が岸壁東側の岩場に接近し過ぎて、平成21年6月11日09時30分ごろ、船尾船底付近が岩場に乗り揚げた。 本船は、その後自力で航行を続けた。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 東南東、風力 2 海象：平穏、潮汐 下げ潮中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、岩井袋港において離岸作業中、岸壁東側の岩場に接近しすぎた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が岩井袋港において離岸作業中、岸壁東側の岩場に接近しすぎたため、岩場に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	